

なぜ、果物の名産地があるのか

千葉県千葉市立土気南小学校

五年

飯田 敬太

僕は、どこでも果物は作れそうなのに、なぜ山梨県はぶどう、桃の生産量が日本で、なぜ愛媛県は蜜柑が有名なのかわかりたいと思います。

山梨県には、富士山、南アルプス、八ヶ岳や秩父山地などがあります。この山に囲まれるように甲府盆地があります。山から盆地に流れ出た河川は、扇状地を形成しています。水はけの良い扇状地は、ぶどう、桃などの果樹を栽培するのに適しているため、ぶどう、桃の生産量が日本一なのです。

愛媛県の蜜柑の栽培は、江戸時代の終わり頃、伊勢参りや四国巡礼で手に入れた苗木を宇和島市吉田町で植えたのが始まりと言われています。愛媛県は、一年を通して温暖で晴れの日が多く、傾斜地が多いため、畑の土も水はけが良く、蜜柑を育てるための栄養分を多く含んでいることなど、おいしい蜜柑を作る良い環境に恵まれています。愛媛県の中でも、海岸に沿った傾きがある南予地方と瀬戸内の島々は、おいしい蜜柑の産地として有名です。傾斜地では、西宇和地域に代表される石垣に覆われた段々畑が多く見られます。石垣に使用される石は、熱が冷めにくいいため、温かさを保つことができます。愛媛の蜜柑は空から降り注ぐ光、海からの反射された光、石垣からの輻射熱と言う、「三つの太陽」をいっぱい浴びて育てるため、とてもおいしい蜜柑が作られるのです。

他にも、いろいろな果物の名産地がありますが、名産地と呼ばれる場所には、土地の特色を最大限に利用しておいしい果物を作っていることがわかりました。名産地を知ることとは、その土地の良さを知るいい機会になりました。今度は、果物を作るための工夫とか、大変な所など勉強していききたいです。